

平成25年（2013年）8月1日発行

速報

新理事長に柳澤章理事が就任

7月16日（火）、学校法人日本工業大学理事長に柳澤章理事（副理事長・前学長）が就任した。大川陽康理事長の退任に伴い、6月20日（木）の理事会において選出された。



柳澤 章
やなぎざわ・あきら

昭和18年東京生まれ。43年3月千葉大学大学院工学研究科機械工学専攻修士課程修了。同年4月、本学機械工学科に助手として勤務。平成3年に教授。15年4月理事・教務部長、同年12月学長、23年副理事長に就任。69歳。

学園創立106周年 第6回学園協議会開催

波多野学長による講演 「教育の進展と今後の方向性」

本学園の創立記念日である6月29日（土）午前11時45分より、第6回目となる学園協議会が、本学宮代キャンパスの学友会館ホールで開催された。

幕を開け、大学開設にあたっての苦心談や駒場高等学校の教職員、生徒の協力があり校舎を建設できたことなどのエピソードを披露した。

続いて、波多野学長から、『日本工業大学の教育の進展と今後の方向性』をテーマに講演が行われた。まず、学長自らが行う新入生向けの「学長メッセージ」で、学園の歴史やポリシーのもと「現場のプロジェクトリーダーを育てたい」と話していることを述べ、



学園協議会終了後には懇親会が催された

取組みを紹介し、最後に環境系学科や大学院専攻の整備など次の時代に向けての抱負を述べ、講演を締めくくった。

その後、意見交換が行われ、出席者による活発な議論が交わされた。学園協議会の終了後には、学友会館の会議室へ会場を移し、第2部の懇

第9回本学卒業現職教員の集い

関東近県から現職教員約60名が参加

6月22日（土）午後2時より、本学学友会館にて第9回本学卒業現職教員の集いが開催された。

現職教員の参加者は、全国の小学校・中学校・高等学校等に勤務する約60名、大学からは、柳澤章副理事長、波多野学長、成田教務部長をはじめ教職希望の学生約30名が参加した。

当日のプログラムは、左記の通りである。



講演を行う波多野学長

キヤラムを準備し「実工学教育」を行っていることを説明した。また、最近の学生の変化に対応するため、学修支援センターや英語教育センターの充実や今年度から実施したフレッシュマンキャンプの

①研究協議会
②課題研究におけるミニ新幹線模型の製作

講師 津野章久氏（埼玉県立春日部工業高校教諭）
・「高崎工業高校における高大連携の取組」
講師 星野隆一氏（群馬県立高崎工業高校教諭）
②挨拶・講演
・学長 波多野 純
・入試室長 丹澤祥晃
・埼玉県産業教育振興会会長（元衆議院議員）大野松茂氏
③グループ討議
④懇親会

研究協議会は、卒業生の日頃の教育実践に裏打ちされた素晴らしい内容



3グループに分かれて行われたグループ討議

で、多くの教員に感銘を与えた。懇親会では、卒業生と大学教職員との輪が広がり、情報交換が活発に行われていた。

6/1(土)オープンキャンパス開催報告

6月1日（土）、オープンキャンパスが開催された。当日は、大勢の高校生や保護者の方が参加。平成26年度の入試概要が明らかになり、体験授業や個別進路相談会、保護者説明会、女子向け特別プログラムなどが好評だった。



オープンキャンパス

NIT 夏のオープンキャンパス

8/3(土)・4(日)・24(土) 9/8(日)

無料バスを運行！詳細は本学 WEB サイトでご確認ください。

オープンキャンパス・進学相談会

10/26(土) 11/23(土)

各開催日とも11時開始(ランチ付き)

詳細はホームページでご確認ください。
事前に申し込まれた方にプレゼントを差し上げます。

お問い合わせ・お申込み先：日本工業大学 教務部入試室
〒345-8501 埼玉県南埼玉郡宮代町学園台 4-1
☎0120-250-267 E-mail: nyu-shi@nit.ac.jp
URL: www.nit.ac.jp 携帯URL: www.nit.ac.jp/k

高校生などを対象とした今年度開催のコンテスト

第5回3-D CADプロダクトデザインコンテスト



エントリー締切 8/17 結果発表表彰式 10/13
3D-CADを駆使し、斬新かつ独創的なアイデアをコンピュータ上で表現してください。対象は高校生で、テーマ、CG、自由の3部門。優秀な作品は加工して展示します。

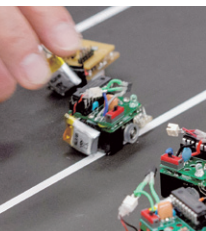
作品送付先／お問い合わせ先
3D-CADプロダクトデザインコンテスト事務局 長坂保美
TEL: 0480-33-7619 E-mail: nagasaka@nit.ac.jp
http://leo.nit.ac.jp/~nagasaka/pd-contest/index.html

第27回 建築設計競技



作品提出先／お問い合わせ先
建築設計競技委員会
TEL: 0480-33-7681 E-mail: kenchiku-compe@nit.ac.jp
http://www3.nit.ac.jp/kenchiku/

第7回 マイクロロボコン高校生大会



申込締切 8/24 開催日 9/7
約1インチ立方のロボットによるライントレース競技。前回から省エネの要素やメカなど工夫する余地が増えました。全員完走を目標に今夏も学内外で講習会を実施します。

お問い合わせ先
工業教育研究所 原田 昭
TEL: 0480-33-7512 E-mail: akih@nit.ac.jp
http://ise.nit.ac.jp/mrc.html

第17回 スターリングテクノロジー



申込先／お問い合わせ先
スターリングテクノロジー技術会事務局 運営委員長 松尾政弘
TEL&FAX: 048-858-3098 E-mail: stirling@jcom.home.ne.jp
http://members.jcom.home.ne.jp/stirling/

ISO定期サーベイランス審査報告

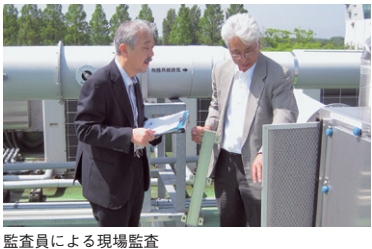
4度目の更新審査すべて良好と判定

本学は、ISO14001の認証を平成13年6月27日に取得し、今年13年目を迎えた。

第5次中期計画の初年度である本年は、5月17日・18日の2日間にわたり、通算4度目の更新審査(3年に1回)が実施された。

今夏の節電への取組み

照明削減・空調機輪番停止などを継続



監査員による現場監査

審査は、①環境目的・目標②法的好およびその他の要求事項の順守③マネジメントレビュー④内部監査の実施の4項目を中心に、システムの有効性とそれらのパフォーマンス全般に関して行われた。

経済産業省より、今夏も経済活動や社会生活などへの影響を極力避けて無理のない形で「数値目標を設けない節電」の要請が出されている。この背景を基に、本学は、昨年に引き続き、「快適な教育研究活動環境の維持」をコンセプトに電力の削減活動に取組むとともに、埼玉県「地球温暖化対策推進条例」に対応する次の総合的な省エネ活動を実施している。

●目標値 基準値(平成17～19年のエネルギー使用量平均値)の▲10%を削減
●具体的活動 ①照明削減の継続実施(節電率▲30%)
②空調機の輪番5分間停止(30分間の内5分停止)遠隔操作



大島教授制作の啓発ポスター

また、代表環境管理責任者等へのインタビューを実施。さらに、部門の現場監査では、各部門の特色ある環境管理(E・M・S)活動に対し審査が行われ、いずれも良好と確認された。初の試みとして、本学の大きな特長である学生の環境活動に対しては、審査員と学生環境推進委員長・副委員長との意見交換会がもたれ、学生諸君には今後の活動にヒントを与える内容であった。審査後の総括では、指摘事項はなく「前回更新審査以降、3年間のE・M・S運用状況はPDCAを活用し継続的に維持・改善されていることを確認。特に『第4回エコ大学ランキング全国総合第1位』の受賞は、本学の環境活動に対するモチベーションアップにつながっている」と評価された。

専門職大学院だより

MOTの新カリキュラム

技術経営専門職大学院(MOT)では本年度から新しいカリキュラムでの授業が開始された。その概要を紹介したい。

MOTで学ぶ院生の所属企業は、大手企業からベンチャーまでバラエティに富むが、多くは中小技術系企業の経営者や管理者、様々なプロジェクトのマネジャーや、新

たに会社をスタートしようとする起業家である。それぞれの人材像にあわせて「中小企業技術経営」プロジェクトマネジメント「起業・第二創業」のコースが用意され、その専門性を追求出来るように配慮されている。技術経営のためには専門性の追求とともに、「財務・会計」組織・人

材マネジメント「マーケティング」「知的財産」「オペレーション」「グローバル」「事業承継」など、経営に共通するマネジメントの理解が不可欠になっている。今回は、グローバル事業展開の課題解決や、会社の業務オペレーションの効率化、さらに会社を先代から次の世代へと承継など

の科目を充実した。また、会社のなかでの色々な状況に柔軟に対応するためには広範囲な知識やスキルも不可欠だ。経済学、統計解析、法務と職業倫理、中小企業向けの施業活用、企業の社会貢献などの知識や、論理的な思考、英語でのコミュニケーション、変革や会議の進行の仕方であるファシリテーション、営業やマネジメントのスキルなどの科目も継続強化している。

これら科目は基礎、応用、ケーススタディ(事例研究)の3つの段階で学習を深めていくが、特に実際の企業の経営課題について検討する事例研究は、自社の課題解決を実践することを入学の目的にした院生が多い、MOTの特徴を活かした科目と言える。

新カリキュラムで学んだ院生の皆さんが学びの成果をいかし、大きな成果を挙げられることを願っている。

(大学院技術経営研究科・教授 清水 弘)

夏の学生自治会主催行事

8/1・2に恒例の夏祭りを開催
夏休みのイベントも盛りだくさん



櫓を囲んで盛大に行われた盆踊り(昨年)

本年度も早4ヶ月が過ぎ、新入生たちもすっかりキャンパスに馴染み、大学生活最初の試験を迎えた。この春学期試験が終わると、8月1日(木)から2日(金)の2日間、体育会主催の夏祭り大会が行われる。今年もオープニングは仮装行列から始まる。例年夏祭りのメイン会場となっていた体育館周辺が改修工事のため、旧図書館跡の広場に櫓を組み上げて、その周辺に模擬店を出店する。会期中は、盆踊りはもちろん各委員会やクラブ団体の参加の元、バンドライブなど様々な企画が行われ、夏の盛りの2日間は祭り一色となる。

学生たちは、春学期定期末試験終了後から9月16日(月)まで夏季休業となるが、その間には、文化団体連合会本部等主催のフレッシュマンキャンプや夏合宿を行うクラブ団体も多い。



2020年 オリンピック・パラリンピックを日本で!

2020年東京
オリンピック・パラリンピック
招致活動に賛同しています。

一人ひとりの夢を、思いを形にできるよう、本学も招致活動に取り組みます。

本学で先端技術研究の取り組みを

社会人大学院生 募集
(日本工業大学大学院 社会人特別選抜)

◆大学院工学研究科

博士前期課程 *環境共生システム工学専攻 *機械システム工学専攻
*電子情報メディア工学専攻 *建築デザイン工学専攻
博士後期課程 *機械工学専攻 *電気工学専攻 *建築学専攻
*システム工学専攻 *情報工学専攻

■平成26年度 大学院 社会人特別選抜入試日程

	日程			
	出願期間	面接試験	合格発表	手続締切
一次募集	平成25年9月21日～9月27日	10月3日	10月11日	平成26年1月23日
二次募集	平成26年2月5日～2月12日	2月24日	3月5日	平成26年3月11日

—— お問い合わせ先：教務部教務課 大学院入試係 ——
TEL 0480-33-7507 URL http://www.nit.ac.jp

平成26年度入試概要

・各入試の詳細は、それぞれの「募集要項」でご確認ください。

入試種別	併願の可否	内 容	日 程			
特別奨学生入試	併願可	奨学生には、1年次の学費の半額(¥671,500)を免除 第1期 ・書類審査および面接による選考 第2期 ・筆記試験、調査書および面接による選考 ・検定料割引制度あり	第1期		第2期	
			申込期間	9/ 2(月)～ 9/10(火)	*1/31(金)～2/2(日)のうち、1日を選択して受験してください。	
			面接日と面接会場	9/14(土) 本学		
			出願期間	9/18(水)	1/ 6(月)～1/24(金)	
専門高校入試 (S 工業科)	併願可	・書類審査および面接による選考 ・工業科の生徒を対象 ・国公立大学等との併願に最適	試験日と試験会場	9/19(木)～10/ 2(水)	1/31(金)～2/ 2(日) 本学*	
			合格発表日	10/12(土)	2/ 8(土)	
			入学手続締切日	10/22(火)	3/11(火)	
			第1回	1/15(水)		
専門高校入試 (B 工業科)	併願可	・書類審査および面接による選考 ・工業科の生徒を対象 ・公募制 *本学会場以外での面接を希望する方は、11/8(金)までに必着するよう、出願してください。	第1期		第2期	
			出願期間	10/17(木)～11/12(火)*	11/25(月)～12/10(火)	
			面接日と面接会場	11/14(木) 仙台*・水戸*・高崎*・東京* 11/15(金) 宇都宮*・新潟*・長野*・金沢* 11/16(土) 本学	12/13(金) 東京 12/14(土) 本学	
			合格発表日	11/23(土)	12/21(土)	
AO入試 AOエントリー入試 AOコーディネータ入試	併願可	AOエントリー入試 ・適性評価(面談・提出課題)および書類審査(エントリーシート・調査書)による選考 AOコーディネータ入試 ・面接および書類審査による選考	第1期		第2期	第3期
			エントリー入試のエントリー期間	7/14(日)～8/ 5(月)	8/16(金)～9/10(火)	10/26(土)～11/25(月)
			コーディネータ入試の申込期間	平成26年2月28日(金)まで、随時受付		
			面接・面接等	書類受理後に連絡		
一般推薦入試 (公募制)	併願可	・書類審査および面接による選考 ・専門高校(工業科)以外の生徒を対象 ・公募制 *本学会場以外での面接を希望する方は、11/8(金)までに必着するよう、出願してください。	出願期間	9/ 2(月)～9/ 9(月)	9/19(木)～10/ 2(水)	11/29(金)～12/12(木)
			選考	書類審査等		
			合格発表日	9/14(土)	10/12(土)	12/21(土)
			入学手続締切日	9/25(水)	10/22(火)	1/15(水)
一般入試	併願可	・筆記試験および調査書による選考 ・検定料割引制度あり	第1期		第2期	
			出願期間	11/ 1(金)～11/12(火)*	11/25(月)～12/10(火)	
			面接日と面接会場	11/14(木) 仙台*・水戸*・高崎*・東京* 11/15(金) 宇都宮*・新潟*・長野*・金沢* 11/16(土) 本学	12/13(金) 東京 12/14(土) 本学	
			合格発表日	11/23(土)	12/21(土)	
センター利用入試	併願可	・平成26年度大学入試センター試験で、本学が指定する教科・科目の成績および調査書による選考 ・検定料割引制度あり	第1期		第2期	
			出願期間	12/ 2(月)	1/15(水)	
			入学手続締切日	1/15(水)	1/15(水)	
			試験日	2/ 8(土)	2/25(火)	3/15(土)
センター利用入試A	併願可	・試験日を変えて、同一学科の複数回受験あるいは他学科の受験が可能	第1期		第2期	
			出願期間	1/ 6(月)～ 1/24(金)	2/ 3(月)～ 2/14(金)	
			試験日	1/31(金) 本学・郡山・水戸・高崎 2/ 1(土) 本学・東京・静岡 2/ 2(日) 本学・宇都宮・柏・東京	2/19(水) 本学・東京	
			合格発表日	2/18(火)	3/ 4(火)	
センター利用入試B	併願可	・平成26年度大学入試センター試験で、本学が指定する教科・科目の成績および調査書による選考 ・検定料割引制度あり	第1期		第2期	
			出願期間	1/ 6(月)～ 2/ 3(月)	2/ 3(月)～ 2/14(金)	
			センター試験実施日	1/18(土)・19(日)	*本学での個別学力試験等は実施いたしません	
			合格発表日	2/ 8(土)	2/25(火)	3/15(土)
センター利用入試C	併願可	・平成26年度大学入試センター試験で、本学が指定する教科・科目の成績および調査書による選考 ・検定料割引制度あり	第1期		第2期	
			出願期間	1/ 6(月)～ 2/ 3(月)	2/ 3(月)～ 2/14(金)	
			センター試験実施日	1/18(土)・19(日)	*本学での個別学力試験等は実施いたしません	
			合格発表日	2/ 8(土)	2/25(火)	3/15(土)

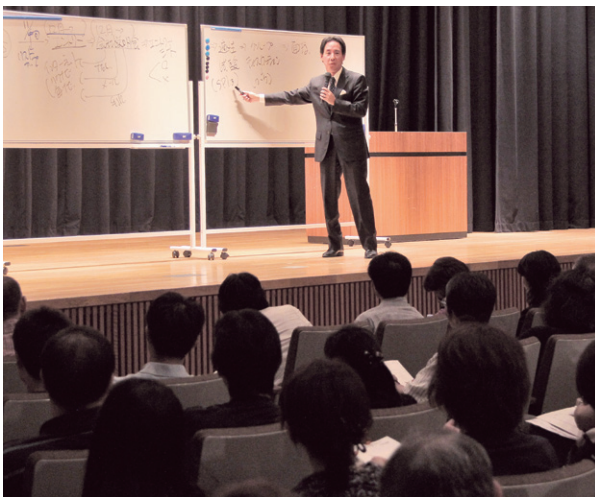
・専門高校入試 (A 工業科) および一般推薦入試 (指定校) については、2014受験ガイドおよび募集要項をご確認ください。
・お問い合わせ先：入試室 TEL 0480-33-7676

今年度の採用動向と就職支援状況

保護者向けガイダンスに約250名が参加

本学では今年度第4回目の学内合同企業説明会を、6月14日（金）～17日（月）に学友会館にて実施し、延べ約1200人の学生が参加した。例年より内定時期が早まっており、大手企業の採用はほぼ終盤に差し掛かり、ここから中堅企業の採用が本格化する。毎年この時期は、本学学生にとっては一つの大きな山である。勤務地、業種、職種について再度検討し、活動の幅を広げ、もうひと頑張りする時期である。

指導教員には、少なくとも年5回、就職支援の一環として学生との「個別面談」の実施を依頼している。就職活動状況を把握し、未内定者への就職支援を就職支援課と一体となって行っている。秋から卒業研究が本格化する。いまこの時期に積



渡邊氏による講演「我が子の就職活動について、親ができること、してはいけないこと」

極的に活動し内定を勝ち取ってもらいたい。就職支援課では、「履歴書」「面接」「企業情報」等、何でも、何時でも、何度でも、相談を行う。また、6月15日（土）に学友会館にて「保護者のための就職ガイダンス」を実施した。今回は、これから活動を開始する学部3年生と大学院

厚生労働局職業安定部長の齋藤明男氏より「新卒者の雇用情勢と埼玉労働局の取組」と題して、大学との連携、企業が不採用にする理由等、具体例を挙げての説明がなされた。竹内貞雄学生支援部長より「本学の就職状況」と題し、就職支援の取組を中心に、今後のサポートについての説明がなされた。

基調講演は人事コンサルタントの渡邊剛氏により「我が子の就職活動について、親ができること、してはいけないこと」と題して行われた。就職活動への親の関わり方について、具体的な例を、丁寧に且つユーモアを交えて披露され、大いに沸いた講演となった。講演終了後は、全体での「就職相談会」、さらに「個別相談会」を実施して終了した。

出前授業プログラム

昨年度は4,565名が受講 高校生の進路決定にも一役

今年度は、5月に出前授業プログラムを全国の工業高校や普通高校、高大連携校など約800校に配布するとともに、授業プログラムを本学のホームページに掲載し、出前授業等の案内を行った。

なお、出前授業の実施は4月から始まり、すでに16回の授業が予定されている。平成24年度の実施回数は、97回、受講者数は4,565名であった。年々、受講者数が増加している。

また、研究室インターシップも各学校に周知されつつあり、応募学校数が増える傾向にある。今年で7年目となるが、高校の生徒は、「進路決定の貴重な体験であった」、進路担当者から「生徒の進路決定に有効である」とのアンケート結果もある。

引き続き本学教員の理解と協力・支援を得ながら内容の充実を図り、高校の生徒・先生方の期待に沿えるよう努めている。

（高大連携プロジェクト室）

出前授業実施・予定一覧

平成25年6月12日現在

	実施日	コマ数	受講人数	実施校	担当教員	題目
1	4/23(火)	2	56	日本工業大学駒場高等学校	平栗 健史	E12 モバイルコンピューティング（スマートフォンやWi-Fiなど）って何？
2	5/25(土)	2	80	清真学園高等学校	三坂 育正	A 環境に良い・環境の良い建築や都市とは？
3	5/25(土)	2	40	群馬県立藤岡工業高等学校	石川 豊	E1 のぞいてみよう“ナノ”の世界
4	5/25(土)	2	40	群馬県立藤岡工業高等学校	神 雅彦	M9 Ultrasonics静かな機械エネルギー「超音波」の不思議体験
5	5/31(金)	2	27	茨城県立高萩清松高等学校	飯塚 寛司	S6 電気・メカトロニクスの仕事
6	6/15(土)	1	30	埼玉県内の校長・教頭先生	伴 雅人	S5 医療用のマイクロロボットからナノマシンの話
7	6/20(木)	2	41	栃木県立宇都宮工業高等学校	長坂 保美	M7 3次元CDAを学ぶ
8	6/25(火)	1	20	長野県上田東高等学校	有賀 幸則	M4 機械要素のいろいろ
9	7/2(火)	2	40	群馬県立伊勢崎工業高等学校	八木田 浩史	P4 イチゴショートケーキから、日本の「食べ物」について考えてみよう
10	7/9(火)	2	40	東京都立杉並工業高等学校	中里 裕一	S4 挑戦！次世代ロボット
11	7/10(水)	2	39	山梨県立巨摩高等学校	佐藤 杉弥	H5 平行二輪車「セグウェイ」で体感するロボット制御の基礎
12	7/18(木)	2	504	東京都立多摩工業高等学校	野口 裕之	M11 エコ大学ランキング総合第1位
13	7/18(木)	1	11	東京都立清瀬高等学校	武田 光史	A3 建築設計の魅力
14	7/30(火)	2	30	茨城県立勝田工業高等学校	佐藤 杉弥	H5 平行二輪車「セグウェイ」で体感するロボット制御の基礎
15	7/31(水)	2	30	茨城県立勝田工業高等学校	中里 裕一	S4 挑戦！次世代ロボット
16	9/12(木)	2	36	埼玉県立浦和工業高等学校	佐藤 杉弥	H5 平行二輪車「セグウェイ」で体感するロボット制御の基礎
17	9/17(火)	1	100	宮代町教育委員会	吉田 清	E 携帯電話の電気代って1年間いくら？（電気のお値段）
18	10/23(水)	2	未定	群馬県立太田東高等学校	大田 健鉦	E17 音の仕組みを学んでみよう
19	10/25(金)	2	40	埼玉県立久喜工業高等学校	石川 豊	E1 のぞいてみよう“ナノ”の世界

グローバル人材育成センター埼玉 オープン

海外インターンシップなどを支援

日本人学生と外国人留学生を留学前から後までトータルでサポートする「グローバル人材育成センター埼玉」が7月1日（月）にさいたま市浦和区にオープンした。本学はこのセンターの運営協議会に県内15大学と共に加盟した。センターが設置されたのは、浦和合同庁舎内にある埼玉県国際交流協会内である。

主な機能は▽学生支援▽人材育成▽就職支援の3点。日本人学生向けには奨学金支援のほか、県

内企業や国際機関での海外業務インターンシップ、帰国者への継続的な研修などを行う。外国人留学生に対しては海外で県内大学への留学をPRしたり、県内での就職支援を行うこととなっている。センターを活用し、県内学生の留学者数増加や就職希望の奨学生の内定率100%、外国人留学生の県内企業への就職者数を5年で5倍に増加させることなどが目標だ。埼玉県は、これまで、日本人留学生の数が

NITEC一行

上野研究室を視察

埼玉県産業人クラブ・NITEC埼玉産学交流会（長谷川勉会長・長谷川鉄工所社長）は、6月24日（月）、本学で6月例会を開き、第33回研究現場訪問シリーズで電気電子工学科・上野貴博准教授研究室を訪問した。

上野准教授の専門分野は、電気駆動接触機構。冒頭、杉田副会長は、「電気駆動接触機構と言うと難しく聞こえるが、モータのブラシに代表される。自動車には百個以



上野研究室で研究の説明を受ける一行

上モータが使用されていて、業界からの要求は強いはず。講義を楽しみにしている」と述べた。

上野准教授は、「ブラシレスモータは、コスト面が課題で、ブラシモータの長寿命化・信頼性向上が求められている」と強調した。その後、参加者は研究室を見学した。

ライブラリカフェで憩いのひととき

5月30日（木）、LCセンターマルチメディア教室にて、共通教育系の齋藤弘雄先生を招き、「星の色ってなんだろう？」というテーマで、星の特性などをお話頂いた。学生を中心に41名の参加があった。続くコーヒートークでは齋藤先生を交えて歓談を行なった。多くの質問が飛び交うなど、有意義な時間となった。



工業技術博物館後援会総会・特別講演会

講演テーマ「ものづくりと博物館」がんばれ！日本の博物館」

6月7日（金）の午後、工業技術博物館後援会の第23回総会並びに春季特別講演会が学友会館で開催された。

総会では、吉田嘉太郎後援会長の挨拶、大川理事長の挨拶に続き、後援会の平成24年度の事業・決算報告、25年度の事業・予算案が審議され、原案通り承認された。

特別講演会では、日本博物館協会専務理事兼たばこ塩の博物館学芸部長・主席学芸員の平田昌之氏の講演「ものづくりと博物館」がなされた。

と博物館「がんばれ！日本の博物館」が行われ、学生を含め多くの方が聴講した。

まず、博物館の存在意義、国内博物館に関する各種データに基づいた現状と問題点について、次いで歴史・美術・科学系の博物館と一線を画す産業文化系博物館の可能性について話した。そして産業の担い手である企業等にストックされていた資料を収集し、動態展示している本学工業技術博物館は「ストックされたもの」を「ものごと」に「再生産する機能」を持つており、大いに期待していると述べた。

続いて、たばこ塩の博物館の概況説明の後、同館の膨大なコレクションの中から貴重な品を多数紹介しながら我が国へのたばこの伝来と普及状況、身近に寄り添った「もの」の文化・産業として、江戸時代に形成された独自のたばこ文化について話し、0.1ミリメートルの刻みだばこの製造技術に見る江戸時代のものづ



平田氏による講演

交流ツアーでは富士山の雄姿を堪能

■留学生交流ツアー

本年度で第2回目となる留学生交流ツアーが、6月2日（日）に実施された。このツアーは故郷を離れて暮らす留学生に大学内外の環境をより身近に感じ、日本の歴史や文化を知ってもらうこと

を目的としたものである。学生からは歓声が上っていた。

目的の地は留学生にとっても認知度の高い富士山ということで、募集開始と同時に定員に達するという盛況ぶりであった。

出発当日の朝は、今にも降りだしそうな曇り空であったが、山梨県に到着する頃には晴れあがり、バスの車窓からは絵ハガキのようにきれいな富士山の全景を臨むことができた。留

■留学生交流会
毎年恒例となり、今年で7回目となる留学生交流会が、本年度も6月25日（火）午後6時30分から学友会館で開催された。

新入生はもちろん、在籍している留学生同士や日本人学生との更なる交流・親睦を図ってもらうことを目的としている。昨年に続き今年も国際交流みやしろの方々も参加した。

また、会の終わりには参加者にお土産として町の国際交流団体である「宮あじ会」から寄贈されたお米が手渡された。



留学生ツアーでは富士山周辺を巡った

ホームカミングデーのご案内

14回目を迎えるホームカミングデーが、若杉祭期間中の11月2日（土）に開催される。当日は、工業技術博物館・各センターを中心とした学内見学ツアー、および懇親パーティーを予定している。好評の抽選会では沢山の景品を用意している。是非とも皆様お声を掛け合って、旧友や現旧教職員と思い出に残るひと時を過ごしていただきたい。ご家族連れでの参加も歓迎している。



学内見学では、複数のグループに分かれ、工業技術博物館などを訪問（昨年）

平成25年地域別教育懇談会開催日程

全国22会場で開催

開催日	主催	開催会場	対象地域
9月 1日（日）	茨城県支部	土浦市・ホテルマロウド筑波	茨城県
9月 8日（日）	本部（北海道）	札幌市・KKRホテル札幌	北海道
〃	本部（四国）	高知市・コンフォートホテル高知駅前	四国
〃	本部（九州）	鹿児島市・ホテル法華クラブ鹿児島	九州
9月14日（土）	秋田県支部	秋田市・秋田温泉さとみ	秋田県
〃	長野県支部	長野市・ホテル信濃路	長野県
〃	静岡県支部	静岡市・商工会議所	静岡県
9月15日（日）	新潟県支部	長岡市・長岡グランドホテル	新潟県
〃	栃木県支部	宇都宮市・ホテル丸治	栃木県
〃	近畿支部	尼崎市・ホテルホップインアミシング	大阪府・兵庫県・京都府 奈良県・和歌山県・滋賀県
9月21日（土）	西中国支部 東中国支部	出雲市・ニューウエルシティ出雲	広島県・山口県・島根県 岡山県・鳥取県
9月22日（日）	群馬県支部	高崎市・高崎ビューホテル	群馬県
〃	山梨県支部	笛吹市・ホテル春日居	山梨県
〃	北陸支部	富山市・富山電気ビルディング	富山県・石川県・福井県
〃	東海支部	名古屋市・東京第一ホテル錦	愛知県・岐阜県・三重県
9月28日（土）	蔵王支部	山形市・悠湯の郷 ゆさ	山形県・宮城県
〃	福島県支部	郡山市・清稜山倶楽部	福島県
9月29日（日）	青森県支部	青森市・青森国際ホテル	青森県
〃	千葉県支部	船橋市・船橋市勤労市民センター	千葉県
10月 6日（日）	本部（近県）	大学	東京都・埼玉県・神奈川県
10月12日（土）	岩手県支部	花巻市・渡り温泉	岩手県
10月13日（日）	沖縄県支部	那覇市・沖縄県青年会館	沖縄県

※日程および会場は、諸事情により変更になる場合があります。詳細はご自宅に送付される案内をご覧ください。

工友会総代会

一般社団法人へ移行

6月8日（土）に一般社団法人日本工業大学工友会通常総会が学友会館にて開催された。

任意団体であった工友会が、4月に一般社団法人へ移行し、初の総会を迎えた。

第一号議案では、定款の規定による理事、監事の承認、第二号議案で

NIITクリエイト株主総会

佐藤氏が社長に再任

NIITクリエイトの第46回定時株主総会が6月15日（土）に開催された。席上、まず佐藤建夫社長より、当期の事業経過と決算内容に関する報告があり、質疑応答を経て満場一致で承認された。その後、任期満了に伴って取締役6名が選任

【任用】（8月1日付）
滝澤英男准教授（機械工学科）昭和43年6月16日生まれ。平成5年3月山梨大学大学院工学研究科精密工学専攻修士課程修了。博士（工学）。三菱マテリアル（株）中央研究所主任研究員。

【退職】（6月30日付）
岡野和馬事務職員（総務部付）

人事異動

◆古閑伸裕教授（機械工学科）／出張先Ⅱタイ（7/17～7/21）／目的Ⅱキングモントクト大学およびパンヤピワット（PIM）大学表敬訪問および本学OBとの会談

◆原渡（施設環境管理課長）／出張先Ⅱタイ（7/17～7/21）／目的Ⅱキングモントクト大学およびパンヤピワット（PIM）大学表敬訪問および本学OBとの会談

◆田村仁講師（創造システム工学科）／出張先Ⅱアメリカ（7/23～7/27）／目的Ⅱヒューマンコンピュータインタラクションに関する国際会議での発表

◆武田光史教授（建築学科）／出張先Ⅱインドネシア（7/12～7/16）／目的Ⅱバリ島における婚礼儀式と祭礼空間の研究

◆波多野純（学長）／出張先Ⅱタイ（7/17～7/21）／目的Ⅱキングモントクト大学およびパンヤピワット（PIM）大学表敬訪問および本学OBとの会談

◆鈴木宏典准教授（ものづくり環境学科）／出張先Ⅱアメリカ（7/23～7/27）／目的Ⅱ第15回人間・コンピュータインタラクション国際会議での研究発表

国外出張

◆高瀬浩史准教授（情報工学科）／出張先Ⅱドイツ（6/16～6/23）／目的Ⅱ国際レーダシンポジウム2013において論文発表

◆神野健哉教授（電気電子工学科）／出張先Ⅱメキシコ（6/19～6/25）／目的Ⅱ2013年IEEE進化計算に関する国際会議に参加、研究論文発表

◆松田洋准教授（情報工学科）／出張先Ⅱカナダ（6/24～6/29）／目的Ⅱ教育上のメディアと技術に関する国際会議2013における論文発表

◆神林靖准教授（情報工学科）／出張先Ⅱポルトガル（6/25～6/30）／目的Ⅱ第6回知能対話型マルチメディアシステムとサービ

◆伴雅人教授（創造システム工学科）／出張先Ⅱ中国（6/26～6/29）／目的Ⅱ第4回アジアバイオマテリアル国際会議での研究発表

◆大田健祐助教（電気電子工学科）／出張先Ⅱタイ（6/30～7/5）／目的Ⅱ第9回無線通信及びモバイルコンピュータに関する国際会議での研究発表

◆田村仁講師（創造システム工学科）／出張先Ⅱアメリカ（7/23～7/27）／目的Ⅱヒューマンコンピュータインタラクションに関する国際会議での発表

◆鈴木宏典准教授（ものづくり環境学科）／出張先Ⅱアメリカ（7/23～7/27）／目的Ⅱ第15回人間・コンピュータインタラクション国際会議での研究発表

宮代町
だより
184号



山崎山の雑木林

この時期、町の木々の緑が一段と際立ちます。「新しい村」南側の山崎山の雑木林。一歩足を踏み入れると、立派な樹木と多様な生物が人々を迎えてくれます。オススメは早朝。空気の澄んだ林内

を、小鳥のさえずりを聴きながら散策すると、心身ともにリフレッシュ。幻想的な一時を楽しむことができます。この貴重な緑を未来に引き継ぐため、毎月第2土曜日に、環境団体とボランティアによる保全活動が行われています。興味のある方は、一緒に汗を流してみませんか。

編集後記

▼オランダの哲学者・スピノザは、著書『エチカ』で、以下のように持論を展開している。▼

「自分にできないことを考えている間は、本当はそれをやりたくない」と心を決めているのだ。だから、それは実行されはしない」と。▼不可能を意味する「できない」は、まさに能力の問題だろう。対して、恣意的に使用される「できない」は意志の問題と言える。そこで、スピノザは意志を持つことの尊さを説く。▼多くの人間は、自分に「できない」というとき、実は能力の問題として、それを言っているのではない。むしろ、意志の問題として「やりたくない」と言っているにすぎない。だから、実行されることなどある訳がない・・・と。▼厳に非難されているのは我々の怠け心であろう。そして、人生を消極的に生きていくことへの強烈なアンチテーゼを感じる言だ。停滞よ、サラバか。【信